

特別インタビュー

刈谷市出身アーティスト

MICRO

(HOME MADE 家族)

「アイリス～希望の花言葉～」を手掛けたMICROさんに制作への想い、刈谷市への想いを聞きました。



どうして今回曲を作ることになったのですか？

誰もが楽しみにしていた市制施行70周年。新型コロナウイルスの影響で予定していた行事やイベントが軒並み中止になっていて、とても心が痛みました。この状況をポジティブなものにどうにか変えることができないかなど。ステイホーム期間中、刈谷にいる仲間と、何度もZoomミーティングを重ねました。ちょうどその頃、僕自身もアーティスト仲間とリモートで楽曲制作を行った経験もありましたので「みんな刈谷の曲をリモートで作ろうよ！」「刈谷ソング、略してカリソンプロジェクトで行こう！」という流れでスタートしていきました。

何を思い浮かべて作詞しましたか？

一番の歌詞は子どもの頃によく祖父母が話してくれた昔話をもとにつづりました。今では家々が立ち並ぶ見慣れた景色も、すべてご先祖様が築きあげてくれた道の上にあるのだからと子どもながらに感銘を受けた記憶が残っています。

ます。そして二番の歌詞は親となった世代の目線で。次の世代である子どもたちにもどんな道をつないであげることが出来るのだろうか。「よっしゃ、今度はほくらの番だ」と奮闘しながらも、ときに「コソツと」空に悩み相談をしている所が自分でも気に入っています。



今回、一番苦労したことを教えてください。

どの世代にも伝わる歌詞とメロディーに一番時間をかけました。子どもたちが歌ってくれているのでポップな印象があるかもしれませんが、実は大人が歌ってもグッとくる歌に仕上げてあります。「アイリス～希望の花言葉～」は大人も子どもも世代を越えて「想い」を軸にみんなで見つめられる楽曲を目指しました。

この楽曲が今後どうなって欲しいですか？

市民の皆さんにはこの歌をどんどん自由に歌って演奏していただけたらうれしいです。街の歌は完成したら終わりではなく、むしろここからスタートですので、100年先まで歌いつながれていくよう、ぜひみんなが可愛いがってやってください。

音楽の教科書などに取り上げていただける歌になったら嬉しいです。カキツバタは刈谷の花ですが、愛知県の花でもあります。刈谷から東海エリア、いつしか全国で「アイリス～希望の花言葉～」が愛される日が来たら、最幸です！



刈谷で一番思い入れのある場所は？

一番思い入れのある場所は逢妻川です。子どもの頃からおじいちゃんと犬の散歩に出かけた、家族、友達とたこ揚げや花火をした思い出の場所です。彼女ができたときも連れていきましたね。また音楽を始めるから、歌詞のほとんどを逢妻川の堤防で書いていました。僕が所属するHOME MADE 家族というグループに「サルビアのつぼみ」という楽曲があるのですが、当時なかなか納得いくサビがでず完成したのが朝方でした。やっこの思いで書きあげた歌を口ずさみながら、逢妻川の水面にキラキラと反射す



▲逢妻橋から望む逢妻川

る朝日に勇気をもたらした日のことを今でも覚えています。

刈谷市民の皆さんに一言お願いします。

「幸せは必ず来る」というフレーズが刈谷市の花でもあります。「カキツバタ」の花言葉です。実際に幸せが必ず来るかどうかは分かりませんが、幸せは必ず来ると信じて生きていくことがきつと大切なのではないかなと思います。この街を築いた僕らのおじいちゃん、おばあちゃんもさまざまな困難を乗り越えていったように、きつとこの先、さまざまな困難が待ち受けているかもしれません。その都度「幸せは必ず来る」と信じて、共に力を合わせて前に前に進んでいけたらいいなと思っています。2020年は本当に大変な年になってしまいましたが、ご協力いただいた皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。そしてこれからも、刈谷市を愛する仲間としてよろしくお願いします！

今回の楽曲を通してうれしかったことを教えてください。

刈谷LOVEのみんなとなつながつてみんなで一つの作品を一緒に作れたことが何よりもうれしかったです。キッズボーカルオーディションにたくさんの方の応募をいただきありがとうございました。動画投稿やミュージックビデオ撮影も最終的には素材が集まりすぎて、監督も編集に手こずり嬉しい悲鳴をあげていました。地元の歌をつくらせてもらえる機会なんてそうそうないですから、全力を尽くしながら全力で楽しませていただきました。



▲収録の様子

MICROプロフィール

富士松南小出身。父親の転勤に伴い、小学生の途中からアメリカ・ケンタッキー州の小学校へ転校し、中学生の途中まで過ごす。帰国後、南山国際高校、南山大学を卒業し、1996年に、大学時代の仲間と共にHIP HOPユニット「HOME MADE 家族」を結成した。グループの代表曲は「サンキュー!!」、「少年ハート」、「サルビアのつぼみ」など。2012年には同じ刈谷市出身の酒井雄二さん（ゴスペラーズ）とのコラボ曲「同じ空を見上げて」を制作。グループとしては2016年から活動を無期限休止しているが、MICROは2017年からソロ活動を開始し、ボーカル、ラップ、作詞、作曲などを行っている。

